

# 会 議 録 (要旨)

会議名	田川市新中学校のあり方に関する審議会 第15回会議
開催日時	平成28年2月24日(水) 10時00分～12時00分
開催場所	田川市民会館 講座室1-1
出席者	(委員) 神谷委員、大宅委員、二場委員、兒島委員、中山委員、穂山委員 浦野委員、森委員 (事務局) 吉柳教育長、和田教育部長、小林学校教育課長、森本教育総務課長 永岡文化課長、樋口学校教育課長補佐、山本生涯学習課長 坂井文化課長補佐、大久保学校教育課主任

審議事項	審議内容
[ 審議資料 1 ] 最終答申(案)	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回に引き続き、答申の原案について審議していただきたい。</li> <li>・ 前回の会議で学校位置について、審議会から一定の方向性が示されたので今回配付した原案に追記した。</li> <li>・ さらに、前回配付した原案の文面についても、表現を精査してコンパクトにまとまるよう修正した。</li> <li>・ 改めて最初から全文を朗読したい。(全文朗読)</li> </ul> <p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本案は、これまでの審議で仮定していた校区割を見直したことにより、仮称を北中学校区と南中学校区に変更している(これまでの仮称は東中学校区と西中学校区)。地理的な位置を踏まえたこの仮称で異論がなければ、この仮称を使って議事を進めたい。(委員から異論なし)</li> <li>② 新中学校の「望ましい適正配置」に関する記述では、最初に現田川中学校敷と現鎮西中学校敷の2つが適地と明記されているが、検証過程の説明で後藤寺中の名称が出てきており、答申の説明が意図することが分かりづらい構成となっている。説明の意図を整理して、構成する必要がある。</li> <li>③ 後藤寺中の敷地は、検証の中で仮定した最低限必要な面積である26,000㎡を満たしているが、周囲に拡張できる土地がないため適地としては厳しいという判断となった。途中まで検証に加えていた中央中と同じく、最終的に候補に成り得なかった理由を付する構成にすれば良い。</li> <li>④ 面積要件だけを見た適地の優先順位を、鎮西中、田川中、後藤寺中と記述しているが、この記述では審議会が後藤寺中を候補に残しているような記述に受け取られかねない。</li> <li>⑤ 審議会案には、議論の前提条件を明記し、検証過程で候補に加えた後藤寺中と中央中が条件に適しなかったために候補から外れたことを明確にした上で、田川中と鎮西中の2校を選定したということを明記すればよい。</li> </ol>

審議事項	審議内容
<p>[ 審議資料 1 ] 最終答申（案）</p>	<p>⑥ 市が実際に学校位置を最終決定する際には、審議会が議論の前提条件とした部分が変わることもあり得る。条件が変わったことにより、合理的な理由をもって結論を変えることは起きてもよい。最終的な市の判断に政治判断が加わることは当然あり得ることだと考える。</p> <p>⑦ 適地に関する記述については、各視点からの検証の後に「田川中と鎮西中の2校を選定した」という結論を書く方法もあるのではないかと考える。</p> <p>⑧ 地理的組み合わせについても、田川中と鎮西中の組み合わせがバランスがよいということが読み取れるように工夫する必要がある。</p> <p>⑨ 生徒数のバランスの比較表は、どの校区割の数字か分かりづらい。田川中と鎮西中の組み合わせを示しているなら、分かるように表示すべきである。</p> <p>⑩ 敷地の適正において、新中学校に最低限必要となる面積は26000㎡と記述しているが、その文章に続けて、将来教育活動の広がりにより、土地の需要が増えることを考慮すれば、より広い敷地が適当であるということを明記したほうがよい。</p> <p>⑪ 福岡市などの都市部では、校舎を高層にして運動場を確保している。地元で学校を残したいという地域や保護者から、そういう意見が出るかもしれない。</p> <p>⑫ 敷地が確保できない都市部ならやむを得ないが、農村部で高層の校舎にするのはどうかなと思う。</p> <p>⑬ 学校自由選択制に関する記述は、導入に対して消極的な表現に受け取れる。導入を積極的に検討することを求める表現にしたほうがよい。学校位置や校区の組み合わせについては、不満を感じる人もいると思うので、選択の幅を持たせることは大事である。</p> <p>⑭ 猪位金校区は将来人口減少で学級を維持できなくなる懸念がある。猪位金校区にも自由選択制の導入を検討したほうがよいのではないかと考える。</p> <p>⑮ 自由選択制を導入する場合は、新中学校区から猪位金校区に通え、なおかつ猪位金校区から新中学校区に通える双方向の制度にしなければ不合理な制度となる。</p> <p>⑯ 猪位金学園の施設規模では、自由選択制で受け入れる生徒数が限られるが新中学校を含めた3校が競い合って、選ばれる学校になっていくという制度設計がよいと思う。</p> <p>⑰ 猪位金学園に小規模校としての課題が残っていることは記述から外せない。</p> <p>⑱ 部活加入者の通学方法については、4km以内でも帰宅時間が遅くなることを想定して、自転車通学等の許可を求めると記述している。しかし、補習や生徒会活動などで遅くなる場合も対象にしたほうがよいので、部活動加入者に限定しないほうがよい。</p> <p>⑲ 通学の安全対策のために通学路の整備を求める文言があったほうがよい。</p>
<p>[その他] 住民説明会の 予定について</p>	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月12日から4月末までの間に、「第2回市立中学校再編に関する住民説明会」を開催したいと考えている。</li> <li>・ 開催日程、開催場所について、審議会の下承を得たい。</li> <li>・ 開催場所は、前回と同じく各中学校屋内運動場としている。</li> </ul>

審議事項	審議内容
<p>[その他] 住民説明会の 予定について</p>	<p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <p>① 審議会の想定スケジュールどおりに再編が進行すれば、再編初年度の中学生は現在（H27年度時点）の小学3年～1生である。したがって対象児童の保護者が足を運びやすい小学校を会場にしたほうがよい。</p> <p><b>【事務局の回答・意見】</b> ※番号は委員の質問番号に対応</p> <p>① 小学校単位での開催を検討し直したい。</p>